

東京メトロは、なぜ全部アルミ車両？

高い省エネ性能

軽量のアルミ車両は、消費電力の軽減を通じ地球温暖化ガス排出削減に貢献しています。1966年に初めてアルミ車両を導入して以降、2006年には全車両がアルミ車両となりました。

強靱さを高める工夫

用途に応じ最適な合金素材を選択、また、外壁などをフルダブルスキン構造とすることなどにより、軽量化と同時に強度向上を図っています。

90%ものリサイクル率

東京メトロではアルミ車両を導入した頃より、リサイクルに有利になるよう合金種別をシンプルにするなどしてきました。

その結果、1988年導入の東西線05系車両では90%もアルミ合金を回収できるまでになりました。

リサイクルの推進

詳しくは  鉄道車両の部屋

 検索

または



http://www.aluminum.or.jp/railway_vehicle/



高い省エネ性能



営業運転中の銀座線1000系車両



塗装、ラッピングを施す前の銀座線1000系車体

